

第2回
ICUでの早期リハビリWS
アンケートまとめ

2017年2月12日(日)

会場：パラマウントベッド メディカルデザインスタジオ

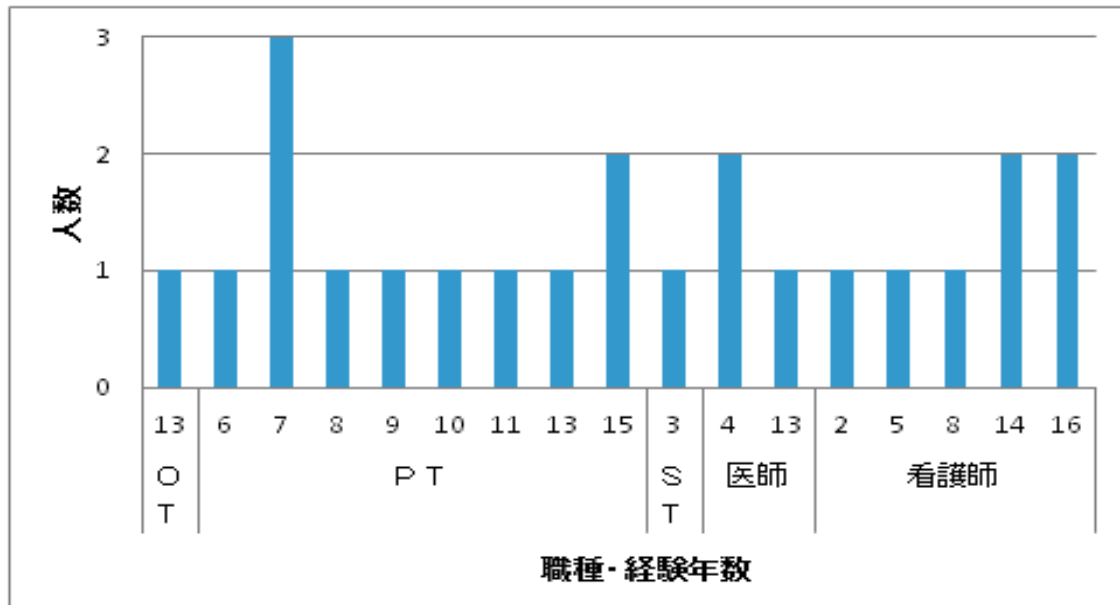
参加者 23名 (1名キャンセル)
(申し込み 50名)

参加者職種

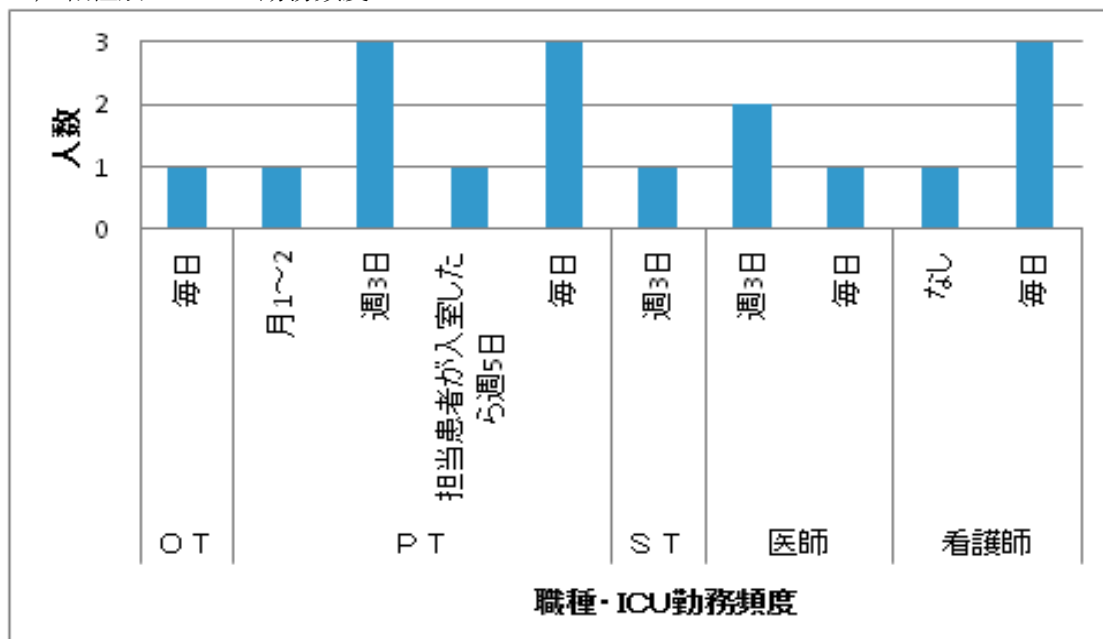
医師3名、看護師7名、PT11名、OT1名、ST1名
アンケート回答者 22名 (23名中)

1 : 参加者背景

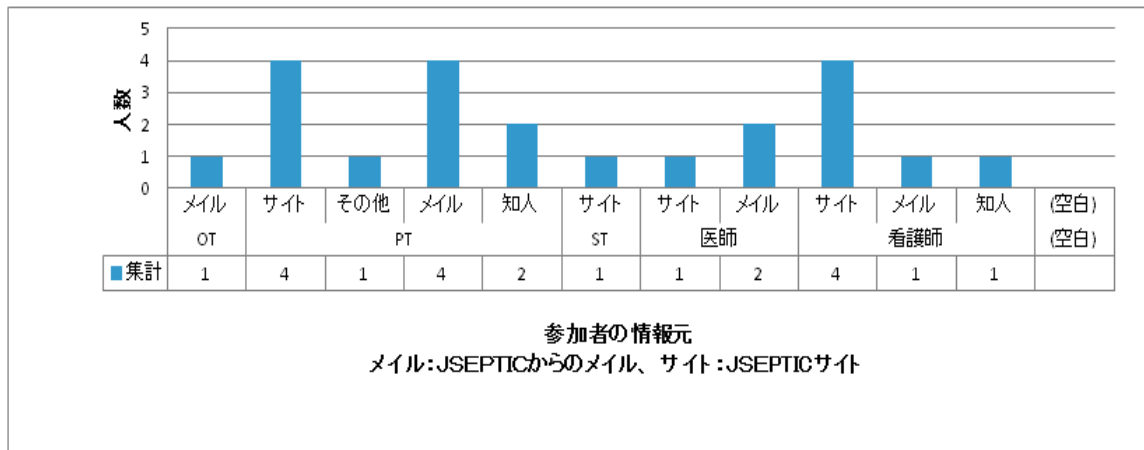
1) 職種別・経験年数



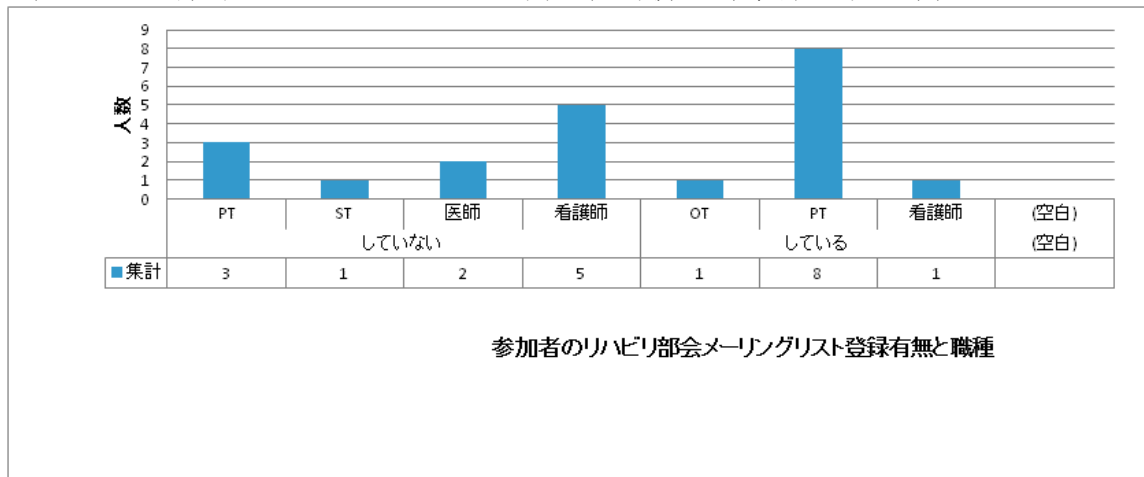
2) 職種別のICU勤務頻度



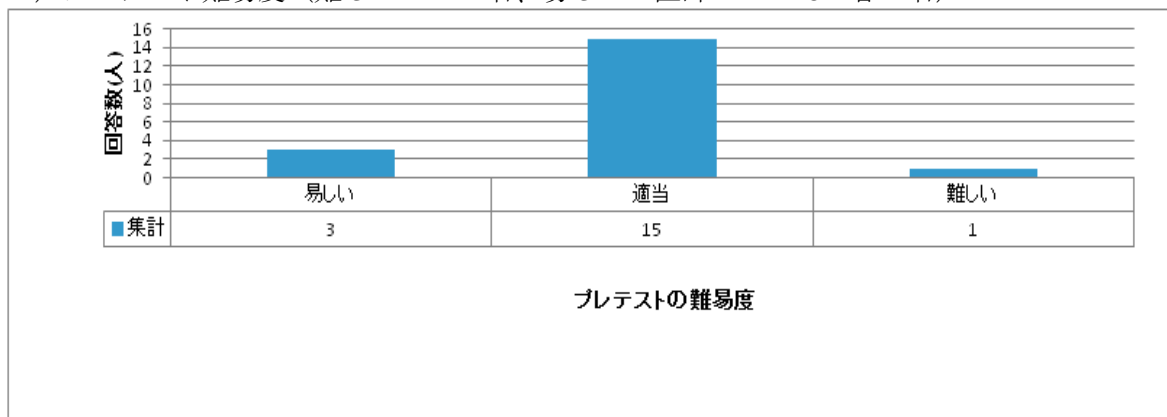
3) 申し込みの情報元



4) リハビリ部会 メーリングリスト登録者 (登録済 10名、非登録 12名)



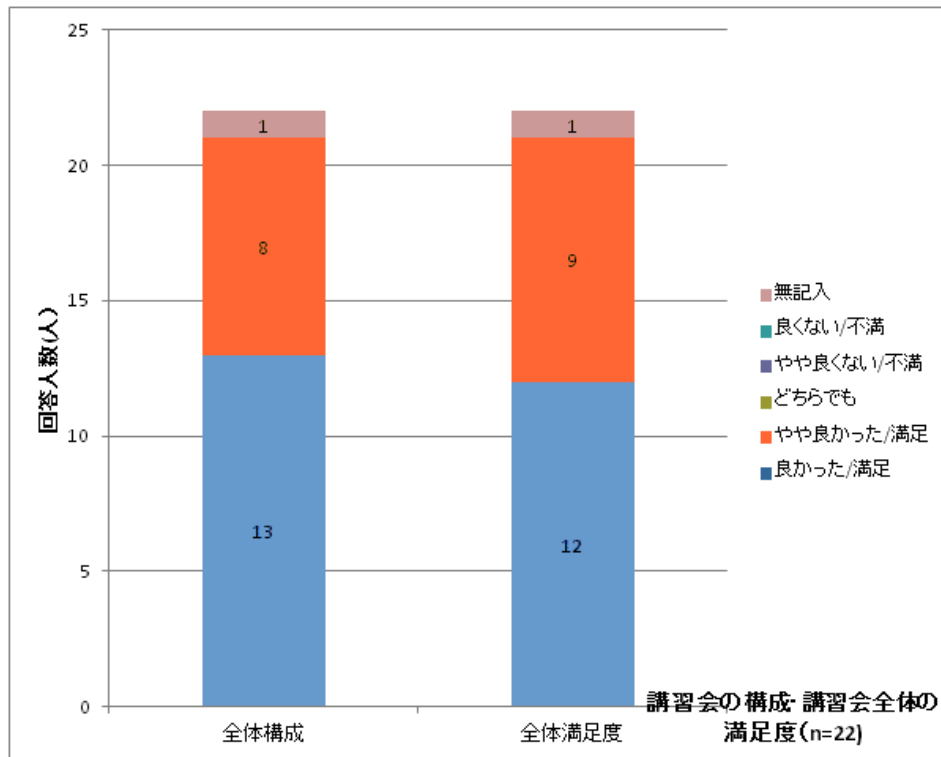
5) プレテスト難易度 (難しい: PT1名、易しい: 医師・PT・OT 各1名)



2：満足度

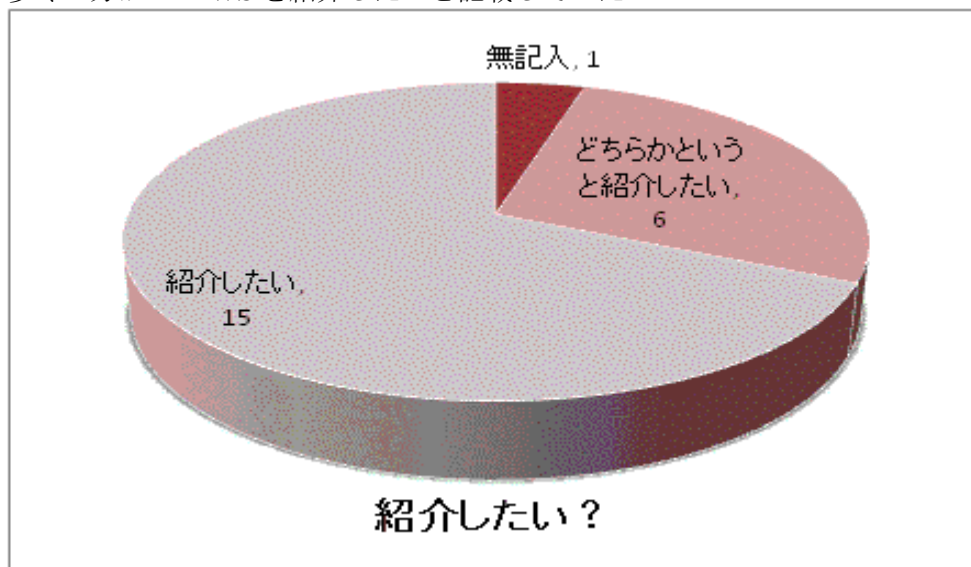
(1) WS 全体を通しての構成と満足度について

無記入1名以外の回答者は WS の構成内容としてはよい/やや良かった、満足感としては満足/やや満足の回答が多いという傾向（よくない、不満はなかった）



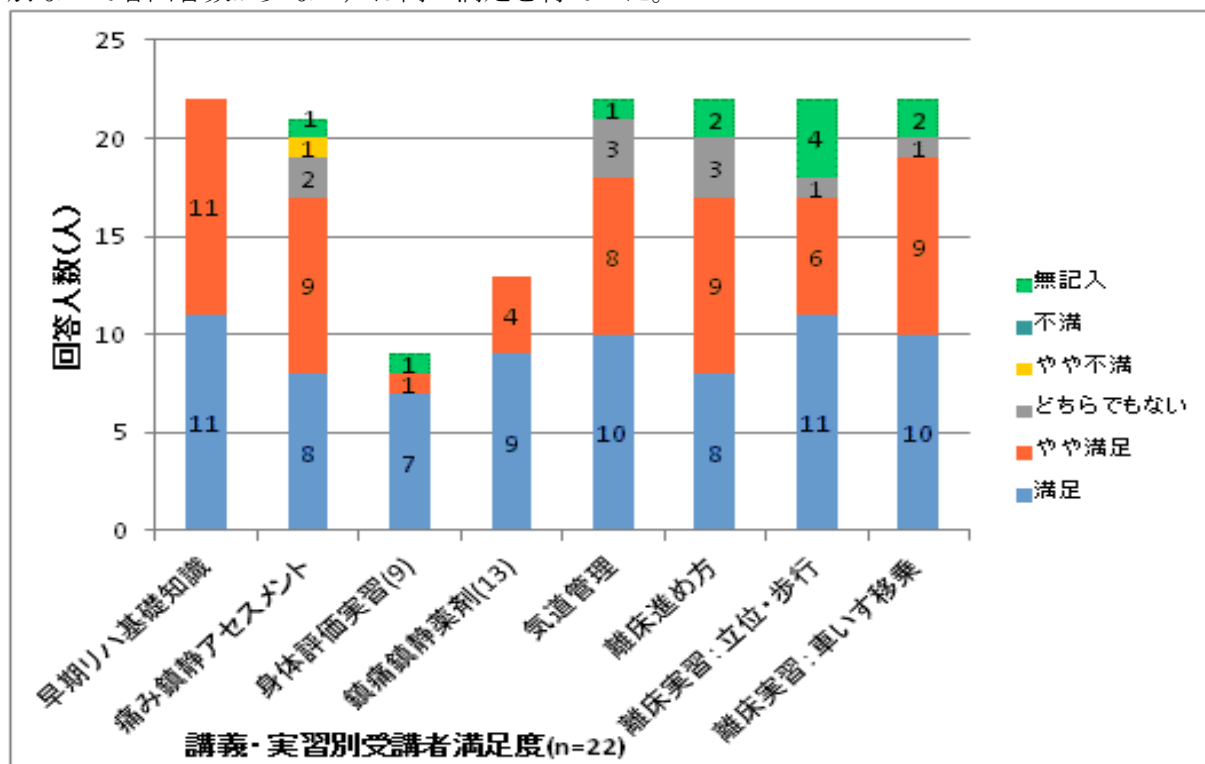
(2) このWSを紹介したいか？

多くの方がこのWSを紹介したいと記載していた



3 各講義／実習別の満足度

各内容ともに満足度は高い状況。早期リハ基礎、身体評価実習、鎮痛鎮静薬剤（後者 2 つは職種別なので各回答数が少ない）は高い満足を得ていた。



4 ワークショップ全体についてのコメント

【全体コメント】

- ・演習が多く、今後研修を企画する上でも参考になりました。
- ・グループディスカッションが多ければ職種の違いによる特徴をお互いが理解できるのになあと思います。実際の BEDSIDE では、一緒にリハビリをしてくれる Dr はまだまだ多くないと思います。基本的なことがよくわかった。
- ・鎮痛・鎮静にかんして知識を得ることができた

【このワークショップを受講して自分自身に変化したことはなんですか？】

- ・筋力評価の重要性
- ・評価・安全面についてしっかりと共有できていないと思いました。
- ・疼痛管理への理解がより深まった。
- ・チームでの目標の共有化をもっとしていかないと、と思いました。
- ・改めて目標共有をしっかりとすること
- ・スタッフ 1 人の思いや力では離床はできないということ 鎮痛や鎮静の評価はしていたが MRC 等のスケールはしていなかったなので、筋力や ROM の評価もしてリハビリしていきたい。
- ・大きくは変わりませんが自分がやってきたことが整理されました。細かい点を見直すこともできてよかったです。
- ・多職種連携の大切さを感じた。

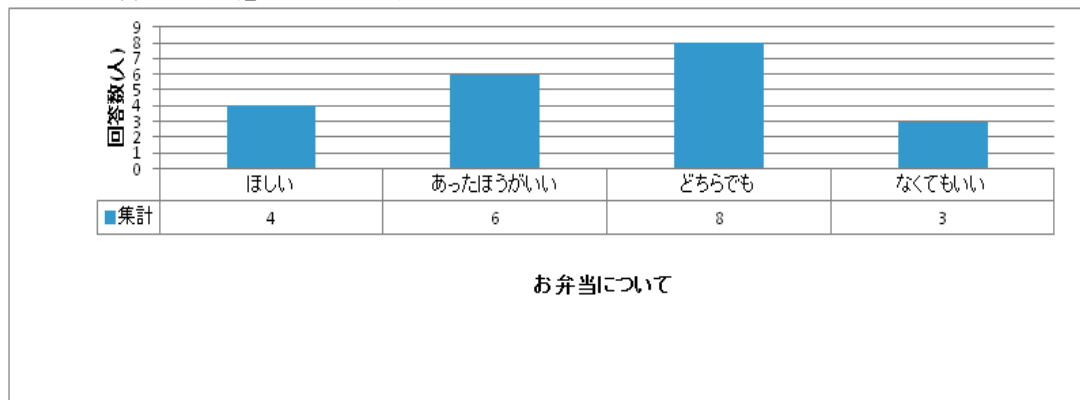
- ・チームの中で専門性をいかしていきながら同じ目標をもつことの必要性を再認識でした。
- ・チームでの意識の共有の必要性 リーダーが先導すべきと思っていたが、皆で声を出しながら進める方法もよいと思った。
- ・今までに実施していたことに加えて、疼痛・意識・せん妄の評価など基礎知識が身につきました。
- ・知識が増えた分、より効率的に患者治療が進めていけると感じました。もっと知識をふやしたいと思いましたし、今日学んだことを少しずつ臨床に生かしていきたいと感じました。
- ・知識があれば怖がる必要がないことを学べた。

【今後のこのワークショップに期待すること】

- ・エキスパートコンセンサスに基づいた何か、人工呼吸・NPPV・HFNCに基づいた何か、プロフェッショナルの視点とか海外の状況とかを学びたい。
- ・大坂でも開催してほしい。2日間のコースでより深く勉強したかった。(身体機能評価・人工呼吸器設定の工夫など)
- ・できれば実際の臨床場面の見学ができると助かります。
- ・今回は挿管・気切の設定だったが、できたらNPPVやHFNC等の会社とも協力して実際に装着した上で離床を学べたらと思います。
- ・人工呼吸器患者のADLをいかにしてあげていくのか、リハ以外でも離床を進めていくためにはどのようなアプローチが良いのか教えていただきたいです。ありがとうございました。
- ・地域でも開催してほしい。できれば中四国でもお願いします。
- ・実技実習については講師の方々で最後に模範的なデモンストレーションをしてもらえるとさらに勉強になったと思う。
- ・疾患別の離床方法などのレクチャー(呼吸・循環・外科術後・中枢神経別)
- ・実際の臨床場面を想定しながらできました。他職種でのコミュニケーションもできて良かったです。また機会があれば参加させて頂きたいです。ありがとうございました。STが1人だったので色々ご迷惑をお掛けしてすみませんでした。
- ・時間配分、アンケートが多くて時間がかかる。
- ・チームアプローチが大切であり、その為に自分の意志をしっかりとって伝えなくてはいけないことを再確認できました。

6 その他：

お弁当用意について。今までは昼食各自で対応。昼休みの過ごし方など考慮すると、お弁当の用意があってもよいのでは



文責：鶴澤